

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年1月30日

## 【評価実施概要】

事業所番号	270700164		
法人名	社会福祉法人常光会		
事業所名	グループホームひばり苑		
所在地 (電話番号)	〒033-0111 青森県三沢市六川目六丁目28番地6号 (電話) 0176-59-3601		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 11月 12日	評価確定日	平成 21年 1月 30日

【情報提供票より】(平成20年10月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 13年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤	9人, 非常勤 0人, 常勤換算 9人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り		
	1階建ての 階 ~ 1階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	4,500 円
敷金	有( ) 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 850 円			

### (4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	0名	要介護2	0名		
要介護3	7名	要介護4	2名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 86.2歳	最低	78歳	最高	94歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	三沢市三沢病院、三沢聖心会病院、富田歯科医院
---------	------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

施設内は利用者が作った装飾品や生け花、鉢植えの花などできれいに飾られており、また天窓もあり明るい雰囲気の中、利用者が生き生きと生活している。ゆったりとしたくつろぎスペースがあり、居室もゆとりがあり明るい部屋である。また利用者それぞれ役割を持ちながらすごしており、それぞれの生活のペースに合わせた環境作りがされている。職員全員が考えた理念が廊下の見やすい場所に掲示されており、職員や家族がいつでも見れるようになっている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回評価後に話し合いが持たれており、指摘のあった居室内のプライバシーを考え、カーテンを各利用者別に作成していたり、グループホーム独自で避難訓練をおこなったりと改善に前向きである。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価の作成にあたり、職員全員で読みあわせをして内容を理解しており、日ごろのサービスについて振り返り、改めて出来ている点や改善点を見出すことが出来た。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>施設職員、理事長、町内会会長、利用者、利用者家族などが参加して活発に意見交換も行っている。グループホームに関しての内容や第三者評価の報告、事故報告や待機登録についてやホーム内の行事等が話し合われている。今後は利用者の参加人数も増やし利用者からの直接的意見も議題の内容にあげていく予定である。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>介護計画については計画作成担当者より家族へ説明。遠方の家族には郵送し家族の意向を直接記入した上で直接返送してもらい、意見・意向の把握に努めている。家族からの苦情や要望は、主に直接職員に話せるような働きかけや声掛けをおこなっている。また実際に苦情があった際には、きちんとファイリングして保管している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>踊りや民謡をしている婦人サークルが定期的にボランティアで慰問して下さったり、近所の幼稚園の夏祭りに招待されたり、中学校の文化祭を見学したりと地域との交流は幅広く行っている。併設のデイサービスの利用者が面会に来てくださったり、遠縁の親戚の方が来て下さったりと近隣の方との交流も多くなる。また、今後は近くの農家のお手伝いに行く予定もある。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループホーム独自の理念を職員が作成しておりその理念を見えやすいところに習字の得意な利用者を書いてもらい掲示してある。また、理念以外にも月ごとに目標を立てていく予定である。しかし、理念の中に地域密着型サービスについて明文化されていない。		地域密着型サービスとしての理念や目標について職員間で話し合いできる機会を作ることを期待します。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	昨年、職員がグループホーム独自の理念を作ったということもあり、すべての職員が理念について理解している。またきちんと話し合いが行われている。ケアプラン作成時にも理念を念頭において作成している。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	踊りや民謡をしている婦人サークルが定期的にボランティアで慰問して下さったり、近所の幼稚園の夏祭りに招待されたり、中学校の文化祭を見学したりと地域との交流は幅広く行っている。併設のデイサービスの利用者が面会に来て下さったり、遠縁の親戚の方が来て下さったりと近隣の方との交流も多くある。また、今後は近くの農家のお手伝いに行く予定もある。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>前回評価の話し合いが持たれており、指摘のあった居室内のプライバシーを考え、カーテンを各利用者別に作成していたり、グループホーム独自で避難訓練を行ったりと改善に前向きである。今回の自己評価の取り組みに対しては、職員と話し合いが行われている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>施設職員、理事長、町内会会長、利用者、利用者家族などが参加して意見交換も活発に行っている。評価の報告や事故報告、待機登録、ホーム内の行事等が話し合われている。今後は利用者の参加人数も増やし利用者からの直接的意見も議題の内容にあげていく予定である。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議を通して連絡を密に取り合い報告、連絡をしておきちゃんと連携はとっている。また広報誌を市に配布するなどの活動もある。 生活保護受給者が利用していた際には、担当のケースワーカーと積極的に連絡を取り、関わりを持っていた。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>利用者の中に制度を活用している方がいるので、職員各自に説明している。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修に参加した職員が、会議の場などで報告する機会を持っており、管理者、職員はきちんと理解されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居前に家族、利用者本人がグループホーム内に入り生活の雰囲気をつかんでもらい、入居に繋がっている。また契約に関しても入居時はもちろんのこと退居要件についてもきちんと話し合いを持ち、納得してもらってから入居に繋がっている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>体調変化時や行動障害があった時は、その都度家族に報告している。活動状況のわかる写真や便りを作成して郵送したり、面会時に生活状況を伝えたりしている。あまり面会に来られない方についても最低月に一度は連絡をしている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族からの苦情や要望は、主に直接職員に話せるような働きかけや声掛けを行っている。また実際に苦情があった際には、きちんとファイリングして保管している。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動は殆どない。もしあった場合には利用者や家族への引継ぎを行っており、異動によるダメージが極力出ないようにしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内の研修については月に一度認知症等に関する研修を行っている。また、外部研修に関しても東北ブロック大会や虐待についての研修会にも参加されている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同法人内の交流はもちろんのこと、東北ブロック大会など大きな研修会に参加した際には、同業者の方と意見交換を積極的に行うようにしている。また、認知症介護実践リーダー研修の受け入れも行っている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に利用者がグループホーム内に入り生活の雰囲気をつかみ、グループホームという環境になじんでもらえるようにしている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に昼食を作ったり、また昼食時間に会話したり午後の時間にはゆっくりとテレビを見ながら会話を楽しむなど、共有した空間の中で支え合っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人や家族から大まかな聞き取りをした後、実際にグループホーム内でできる事をしてもらうよう促し、その中で本人の思いや意向をさりげなく聞きだしアセスメントしている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月一回のケアカンファレンスを持ち、介護計画の遂行に努めている。また、家族の意向は面会時等の聞き取りの他、遠方の家族へは送付した介護計画に直接記入し返送してもらっている。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	体調変化や、入院後など状態に変化があったときには介護計画の見直しがされている。また変更時にはきちんと家族にも報告している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	外泊時の送迎を行ったり、遠方から面会にいらっしゃった方にはベッドを施設から提供し、グループホームで宿泊できるように配慮したりしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医への定期的な受診を行っている。また提携病院と24時間体制がとれており、日・祭日の急変時にも対応できている。嘱託医に内科的フォローをしてもらうことで、入居前からのかかりつけの精神科等の受診を行っている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りの加算やターミナルの体制は整えていないが、状態変化時や入院時には今後の方針や病院退院時の対応など細かく引き継ぎを行うように配慮されている。職員同士でも情報を共有し、同じ対応が出来るようにしている。急変時マニュアルもあり、応援体制も整えてある。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
23	47	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報や記録管理についてはもちろんプライバシーに関する情報の管理も行っている。日々のケアについても職員間で注意しあい、プライバシーの確保に努めている。利用者の呼び方は本人・家族の意向をふまえ、なじみの呼び方で声をかけ、本人の反応を観察し、その後の対応を決めており、信頼関係を築ききかけとなっている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	突然の散歩の希望や外出などの支援も利用者のペースに合わせて行っている。日常生活の中で一人ひとりが役割を持ち、その人らしい暮らしを支援しようと努力している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者と職員が一緒になって食事作りや後片付けなどを行っている。昼食も利用者・職員と一緒にゆったりとした雰囲気の中で味わっている。食器や箸も自宅で使いなじんでいたものを使用している。また季節毎に利用者と職員と一緒に作った漬物や採ってきた山菜を食卓にのせ楽しんでいる。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>現在、利用者の入浴は週四回午後に行っている。希望があった場合は利用者の意向を尊重して入浴できるような体制は整えている。また、足浴も行っている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>日常生活の中での役割が一人ひとりきちんとあり、趣味活動も充実している。畑や鉢植えの水やり、男性利用者は包丁とぎなども行っている。利用者の毛筆で、グループホームの理念や入り口の看板を作成、掲示することで、技術を披露する機会を作っている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>月に一度の買い物支援や、外食ドライブ等行っている。また本人の希望時や定期的に気分転換を兼ねて散歩などの外出支援も定期的におこなわれている</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	現状身体拘束をしている利用者は無い。身体拘束に関しての教育は研修会や勉強会にて行っている。職員も理解している。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施錠による弊害についても良く理解されている。入り口は自動ドアで施錠は行っておらず日中は開放している。併設施設との出入り口には布団干しを置くなどして、環境を整えることで施錠しない対応をしている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	以前は法人全体で行っていたが、現在消防訓練は年2回グループホーム独自で行なっており、その際には消防も参加されている。マニュアルも整備されている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	グループホーム独自でメニューを作成し法人内の管理栄養士に指導を仰ぎバランスの良い食事が提供されている。食事、水分摂取量の管理もできており夜勤者への引継ぎもきちんとおこなわれている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症予防に関してのマニュアルがあり予防に努めている。また職員もきちんと感染症に関しての理解がある。施設内の消毒や殺菌もきちんと薬品を使って対応している。保健所からの連絡も密にとっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>趣味活動で作った装飾品や生け花、鉢植えの花などがホールやカウンターに飾ってあり良い演出になっている。廊下には行事などで外出した際の写真が飾られており、来訪者の目につきやすいところに掲示されている。天窓からの太陽光も室内に明るさを取り込んでおり過ごしやすい空間になっている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者、家族に馴染みの物を持って来ていただいてもよいことを説明している。寝具類や枕は本人の馴染みの物を使い安心して過ごせている。</p>		

 は、重点項目。